



報道機関 各位

記者発表資料
 令和2年1月8日（水）
 問い合わせ先：国際芸術祭開催準備室
 室長：杉本
 担当：井染、鶴田、井上
 電話：048-829-1223
 （内線）2815～2817

**さいたま国際芸術祭2020 -Art Sightama-
 フランク・ブラジガンドが旧大宮区役所にて滞在制作開始します！！**

来春のさいたま国際芸術祭2020 -Art Sightama-に向けて、アーティストのフランク・ブラジガンドが約1ヶ月さいたま市に滞在し、旧大宮区役所のエントランスを飾る大規模なインスタレーション作品の制作を行います。

記

1 作品制作日時・会場

日時：令和2年1月9日（木）～2月10日（月） 13時～18時頃

会場：旧大宮区役所（大宮区大門町3-1）

※上記期間中、作品制作を実施しない日もあります。

※作品制作の進捗により、日程変更の可能性がります。

2 内容

メイン会場の旧大宮区役所 1F にて、事務所空間だった壁面、柱、天井、区役所で使用されていた机や椅子などに、色とりどりのペンキで塗装していくことで、役割を終えた建物が最後に花を咲かせるかの如く、息吹が吹き込まれ、生まれ変わっていきます。

また、上記日時にて、公募で集まったサポーターも参加して作品制作を行います。日が経過するにつれ、エントランスの様相が変化していき、来場者を迎えるにふさわしい作品が出来上がっていく予定です。

3 アーティスト

フランク・ブラジガンド / **Franck BRAGIGAND**

自らを「リアリスティック・ペインター」と定義するブラジガンドは、日常にあふれるモノやゴミから現代の社会を批評的に読み解き、

「日常を修復する」というコンセプトをもとに活動する。新たにものを生み出すのではなく、社会に既に存在し、なかでも古くなって忘れ去



られたものや使われなくなった空間などをペイントすることで再生している。

2012年、自身が立ち上げたプロジェクト「Artist in residence」では、フランスの過疎化する村に滞在し、住民と関わりながら学校や公共施設などにて作品制作を展開。2016年から2019年にかけては、ペイ・ド・ビッチの47村でプロジェクトを実施している。



《Urban Concern-Osaka》2004、路面電車にペイント、Breaker Project

《担当キュレーター》雨森 信

さいたま国際芸術祭2020-Art Sightama-について

●開催期間 2020年3月14日(土)―5月17日(日) [65日間]

●テーマ 「花 / flower」

●会場

メインサイト	旧大宮区役所
アネックスサイト	旧大宮図書館
スプラッシュサイト	まちなか展開 (浦和駅周辺、埼玉県立近代美術館、大宮盆栽美術館、鉄道博物館、彩の国さいたま芸術劇場、岩槻人形博物館、宇宙劇場、さいたま市文化センター、その他市内各所)

●公式WEBサイト URL

<https://art-sightama.jp/>

オリジナルムービーはこちら⇒

